

只見四名山の山々を堪能

「蒲生岳・会津朝日岳・浅草岳」で山開き開催！

「20周年を迎えた蒲生岳山開き」

6月3日、蒲生区と蒲生集落活性化委員会が主催する「蒲生岳（標高828m）」の山開きが行われ、約250名が参加しました。今年で開催20周年を迎える蒲生岳の開山式では、馬場永好区長が「蒲生岳は地元集落が登山道を整備し、山開きを開催しています。平成13年の山開きでは故田部井淳子さんが一緒に参加され、『会津のマッターホルン』と絶賛されました」とあいさつされ、菅家町長が「只見四名山の中でも唯一地元が主催する山開きであり、町の観光振興に多大なご協力をいただき感謝いたします」と祝辞を述べました。開山式後、参加者は集落の方々が管理する登山道を踏みしめ山頂を目指しました。



▲蒲生集落を背に岩場を登る参加者の皆さん

「残雪の残る会津朝日岳」

6月10日、只見ユネスコエコパークの核心地域に位置する「会津朝日岳（標高1624m）」の山開きが行われ、約200名が参加しました。開山式では、只見町観光まちづくり協会の大塚純一郎副会長が「会津朝日岳は、只見ユネスコエコパークの核心地域に触れることができます。今年は積雪が多かったため残雪が多い状況ですので、十分に注意して安全に登山を楽しんでください」とあいさつしました。今年は雪崩による大量の倒木が見られたほか、山頂直下では多くの雪渓があり、参加者は只見ユネスコエコパークの大自然を感じることができました。



▲山頂直下の雪渓を登る参加者の皆さん

「只見沢・入叶津を縦走する浅草岳」

6月24日、只見4名山の最後を飾る「浅草岳（標高1585m）」の山開きが行われ約250名が参加しました。開山式では、菅家町長が「雪食地形や鬼ヶ面山、田子倉湖など浅草岳特有の景色を楽しんでください」とあいさつしました。山開きは、田子倉側の只見沢登山口から登り、山頂から入叶津登山口にするロングコースで行われました。今年は例年より雪解けが早かったため、ヒメサユリなどが多く見られ、登山者を楽しませていました。そして、下山後は甘酒などが振舞われ、参加者は記念バッチを手に踏破の疲れを癒していました。



▲晴天により山々が一望できた天狗の遊び場付近

梁取在住の山内アヤメさん 満百歳で知事賀寿を贈呈！

6月11日、梁取字沖在住の山内アヤメさんが百歳の誕生日を迎えられ、ご家族同席のもと知事賀寿贈呈式が同日、自宅で行われました。贈呈式では、県から知事賀寿状と記念品、町からはお祝い金などが贈られ、長男の征也さんが「これからも家族一同支えあっていきたい」と謝辞を述べられました。

アヤメさんは子ども2人、孫8人に恵まれ、今でも畑仕事や散歩をし、新聞を読んでいます。長寿の秘訣は1日3食しっかり食べることで、肉や魚などが好物と話されました。



▲6月9日に行われたお祝い会で親族などに囲まれ祝されるアヤメさん(中央)

黒谷集落の自然や歴史に触れる 「さなぶり健康ウォーキング」開催！



▲黒谷集落の魅力に触れた参加者の皆さん

6月3日、朝日地区地域づくり委員会が主催する「さなぶり健康ウォーキング」が開催され、32名が参加しました。

今回は、黒谷集落にある町指定天然記念物「黒谷川の大コブシ」や「岩下水路の記念碑」などを巡る約3.3Kmのコースで行われ、地元ガイドがその自然や歴史について説明しました。参加者からは「新緑のなか、朝日地区の自然と歴史に触れ、地域の魅力を発見できた」との感想が聞かれ、健康づくりの推進と地域の魅力を体感できるイベントとなりました。

新緑の癒しの森を散策 「第2回明和ふるさとハイキング」開催！

6月3日、明和自治振興会が主催する「第2回明和ふるさとハイキング」が癒しの森で行われ、約30名が参加しました。

癒しの森ハイキングは、戸板山眺めまで行く往復約2.2Kmのコースで行われ、案内人がブナの倒木がある交流広場などで自然についての説明をしました。

ハイキング終了後には、森林の分校ふざわで豚汁などが振る舞われ、参加者は美味しい豚汁を味わい、ブナの新緑を楽しみました。



▲新緑の癒しの森を楽しんだ参加者の皆さん

手作りパンフレットで只見の魅力を発信！ 町内3小学校の修学旅行でPR活動

6月7～8日、只見・朝日・明和の3小学校6年生43名が、修学旅行で訪れた東京都内において只見町のPR活動を行いました。

このPR活動は2年前から3小学校合同で実施しており、児童たちはPR活動に向け学校の先生方を通行人に見立て、何度も練習を重ねてきました。当日配る手作りのパンフレットも、児童たちが只見町の自然や特産品などの魅力をイラストや写真を使って分かりやすく制作しました。

当日は、黄色い法被をまとった児童たちがお台場や上野などで手作りのパンフレットを配り、「只見の自然は豊かです」「地酒やマトンケバブ、手作りプリンがお勧めです」など堂々とPRしていました。児童たちは活動を通して郷土の魅力を再確認していました。



▲手作りのパンフレットを配る児童(左)

只見町公認自然ガイドの育成研修を一般公開 只見町ブナセンター 講座と観察会を開催！

「ブナセンター講座」



▲環境教育の実践を学ぶ参加者の皆さん

6月16日、「雪ふる里山を舞台とした環境教育の実践」と題したブナセンター講座が同施設で開催され、只見町公認自然ガイドや一般の方などが参加しました。講師に、十日町市立里山科学館越後松之山「森の学校」キョロロで学芸員を務める小林誠氏を迎え、只見町と同様に豪雪地帯にある松之山の里山をフィールドとした環境教育に関する事業を中心にご講話いただきました。

講座では、環境教育が地域づくりの一つの手段になることやそれを実践する知識などを学び、参加者は環境教育への理解を深めていました。

「自然観察会」

6月17日、布沢大田集落にある湿原「大谷地」とその周辺の多様な森林植生について観察する観察会が開催されました。大谷地周辺にはブナ林のほか、地域住民による過去の薪炭材利用などを経て成立したナラ林、雪解け水などで冠水する凹地に成立するヤチダモ林があり、それぞれの特徴や成立要因について説明がありました。前出の小林氏が、全国のブナの葉の大きさの変異やブナ林が水を蓄える所以などについて解説され、参加者は森林植生や過去の人とのかかわりを学ぶことができました。



▲ブナ林で説明を受ける参加者の皆さん

県総体スポ少剣道南会津大会 只見剣道スポ少が優勝！

6月9日、県スポーツ少年団南会津支部が主催する「県総合体育大会スポーツ少年団剣道競技南会津大会」が南会津町の伊南武道館で行われました。

総当たりで優勝を争った団体戦では只見町や南会津町から4チームが出場し、只見剣道スポーツ少年団が見事優勝を飾りました。

只見剣道スポ少は、8月5日に郡山市で開催される県大会に出場します。



▲優勝を飾った只見剣道スポ少の皆さん

平成30年度県学校歯科保健優良校表彰 4年連続で町内全小・中学校が受賞！



▲受賞報告に出席された皆さん(右から菅家町長、横山泰久只見中学校長、吉野徹只見小学校長、穴澤正志明和小校長、小林義弘朝日小学校長、渡部教育長)

県教育委員会などが主催する「平成30年度県学校歯科保健優良校表彰」において、只見小が優秀賞、明和小が努力賞、朝日小と只見中が奨励賞をそれぞれ受賞し、6月25日に各学校の校長が役場を訪れ、菅家町長に受賞報告を行いました。

この表彰は、保健歯科活動を通して児童・生徒の歯が健康に守られ、その取り組みが認められた学校に贈られるものです。町内全ての小中学校が受賞するのは今回で4年連続となります。

受賞報告では、学校関係者などによる日ごろの虫歯予防活動の取り組みが称えられました。

第7回頑張ろう東日本！ JR只見線応援チャリティーショー

6月24日、東日本大震災からの復興やJR只見線の復旧を応援する「歌と踊りのチャリティーショー」が季の郷湯ら里で開催されました。このチャリティーショーは夢広場(大倉)が主催するもので、埼玉県八潮市のほかに、昨年からは只見町でも開催しています。

公演は、昼の部と夜の部で行われ、夢広場でレッスンを重ねた町民などによる歌の披露、そして福島県出身の津吹みゆさんや島津悦子さんなどの演歌歌手が出演しました。夜の部では、夢広場の角田初美さんから菅家町長に只見線応援募金「28,808円」が手渡されました。



▲募金箱を手渡す角田さん(右)と受け取る菅家町長(左)